

淡路佐野運動公園リノベーション計画

令和8年3月

兵庫県淡路県民局洲本土木事務所

兵庫県まちづくり部公園緑地課

目 次

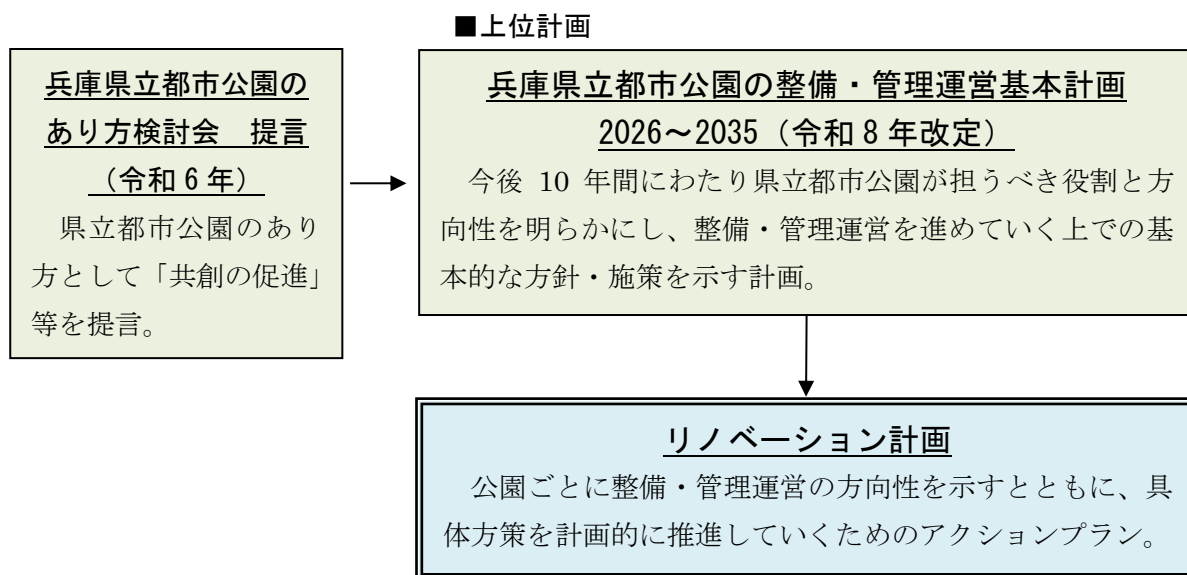
1 計画の基本的事項	1
1-1 背景と目的	1
1-2 リノベーション計画更新の考え方	1
2 計画の推進	3
2-1 都市公園を取り巻く状況	3
2-2 リノベーション計画の進め方	4
(参考)【表 県立都市公園の成り立ち】	5
3 淡路佐野運動公園の計画内容	6
3-1 淡路佐野運動公園の概要	6
3-2 リノベーションテーマ	9
3-3 リノベーション方針	9
3-4 取組内容	12

1 計画の基本的事項

1-1 背景と目的

兵庫県では、「兵庫県立都市公園の整備・管理運営基本計画 2026～2035」（以下、「基本計画」という。）に基づき、「誰もが自分らしく生き生きと過ごせ、人や地域がつながる公園」の実現を目指し、県立都市公園の整備・管理運営を推進しています。

基本計画では、全ての県立都市公園を対象にして、基本的な方針・施策を示すとともに、各公園が取り組むべき具体的な内容について、各公園のリノベーション計画（アクションプラン）に位置づけた上で、「共創」の理念のもと、事業を展開していくこととしています。



1-2 リノベーション計画更新の考え方

社会情勢等を踏まえ、管理運営協議会等で検討した上で、随時、計画の点検・見直しを行います。

Column 兵庫県立都市公園の整備・管理運営基本計画とは？

「兵庫県立都市公園の整備・管理運営基本計画 2026～2035」では、県立都市公園の将来像、推進体制及び方針・施策を下記のとおり定めています。

将来像

誰もが自分らしく生き生きと過ごせ、人や地域がつながる公園

県民と育む推進体制

将来像の実現に向けて、様々な分野の県民・指定管理者・行政が「共創」の理念のもと、それぞれの役割を發揮しながら、基本計画の施策を推進していきます。

施策方針と施策

将来像	施策方針	施策
誰もが自分らしく生き生きと過ごせ、人や地域がつながる公園	1 県民にとってより身近な公園	(1) 心身の健康の増進 (2) こどもの健やかな成長の促進 (3) 安全・安心な場としての充実
	2 誰もが自分らしく過ごせる公園	(4) 多様な過ごし方の実現 (5) 誰もが快適に利用できる環境づくり
	3 地域のつながりを育む公園	(6) 地域連携の推進と地域文化の保全
	4 自然環境を次世代へつなぐ公園	(7) 生物多様性確保の推進 (8) 気候変動への対応の推進
	5 持続可能なパークマネジメントの推進	(9) 老朽化対策や改修の計画的な推進 (10) 持続可能な管理運営の推進

2 計画の推進

2-1 都市公園を取り巻く状況

基本計画では、都市公園を取り巻く潮流や都市公園に求められる事項を下記のとおり整理しています。リノベーション計画において、各公園における具体的な取組内容を検討する際は、下記事項を踏まえて検討します。

●潮流

(1)まちづくりGX

「気候変動への対応」、「生物多様性の確保」、「Well-beingの向上」等の社会的要請に対して、都市公園の多様な機能を活かした取組を推進。

(2)都市公園法の改正(平成29年)

平成29年の都市公園法の改正により、民間活力を活用したPark-PFI制度が新たに設けられ、官民連携を推進する制度が拡充。

(3)国による都市公園の柔軟な管理運営のあり方に関する検討会提言(令和4年)

提言では、“使われ活きる公園”の実現に向け、「まちの資産とする」、「個性を活かす」、「共に育て共に創る」の3つの変革と、「グリーンインフラとしての利活用」、「誰もが快適に過ごせる空間づくり」、「利用ルールの弾力化」、「社会実験の場としての利活用」、「担い手拡大と共創」、「自主性の向上」、「公園DXの推進」の7つの重点施策が示されている。

(4)県による県立都市公園のあり方検討会提言(令和6年)

提言では、都市公園の整備・管理運営においては、「県民参画による共創の促進」と、「公園の特性に応じた柔軟な対応」等が重要と示されている。

●都市公園に求められること

(1)公園利用の変化への対応

- ・障がいのある方や高齢者、外国の方等、多様な利用者が快適に過ごせる空間づくり
- ・多様化する利用ニーズに対応するため、利用ルールの柔軟な運用（ボール遊び等）

(2)地域との連携強化

- ・地域活性化や地域課題の解決に向けた、周辺施設や民間企業との連携強化
- ・地域文化の継承に向け、公園資源や周辺地域の資源を活用した取組の推進

(3)環境問題への対応

- ・生物多様性の確保や気候変動への対応に向けた、都市公園が持つ多様な機能を活かした取組の推進

(4)公園の持続的な管理運営

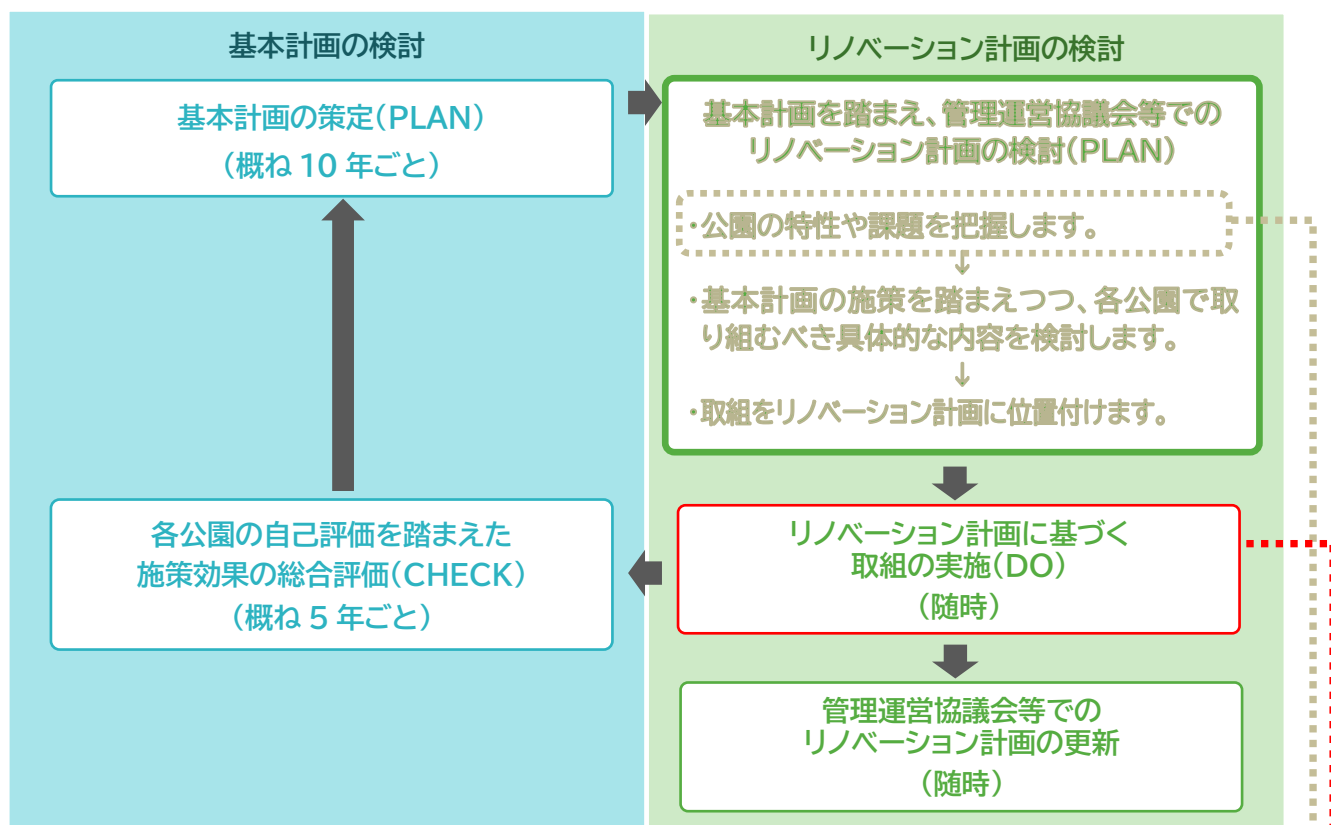
- ・県民が公園運営に参加し、活躍できる場の創出や、地域と行政をつなぐ人材の育成

2-2 リノベーション計画の進め方

リノベーション計画は、管理運営協議会等を通じて県民の意見を適切に反映しながら、具体的な取組内容を検討していきます。そして、時代の潮流や利用者ニーズの変化に柔軟に対応するため、取り組む内容については必要に応じて随時見直しや更新を行います。

また、リノベーション計画の取組実績等は、基本計画の総合評価等にフィードバックし、次期計画への改善・反映につなげていきます。

具体的なフローは以下のとおりです。



※公園の特性把握に向けた調査・検討の視点

■これまでの取組の蓄積を振り返る

過去の取組実績とその成果を振り返り、各公園が今後も継続・発展させるべき事項を整理します。

■公園内外の資源を確認する

公園内の施設や周辺地域・環境が有する資源（自然、歴史遺産、文化的営み、観光施設等）に着目し、公園の強みや周辺と機能分担すべき事項を確認します。

■利用実態・利用ニーズを把握する

利用者アンケート等の結果を分析し、時代に応じて利用者が公園に求めているものを把握します。

※リノベーション計画の実施について

県が優先順位に基づく実施スケジュール案を管理運営協議会等で示し、協議を経た上で実施します。

(参考)【表 県立都市公園の成り立ち】

時期		県立都市公園の成り立ちと歴史													県等の動向		国等の動向			
		明石	甲山森林	播磨中央	淡路島	赤穂海浜	一庫	有馬富士	三木防	丹波並木道	淡路佐野	西猪名	舞子	瀬山	尼森	石の寝屋				
第1期	明治から戦前・戦後	M16	<p>OM16民営公園として開園</p> <p>■M17明石公園開設 民営公園として開園後、御料地への編入を経て、県立公園として開園</p> <p>□T13拡張(南部) □S7拡張(野球場整備等)</p> <p>■M33舞子公園開設 「地盤国有公園」として誕生した初の県立都市公園 松林を中心に広く一般に供された</p>													◆S22 第1回国体開催(宝塚市等)	○M6 太政官布達、公園制度の創設 ○T8 (旧)都市計画法の交付、公園が都市計画対象となる			
第2期	高度経済成長	S30	<p>□S44～各施設の順次改修、新設</p> <p>■S45甲山森林公園開園 甲山周辺の緑地の保全、豊かな自然の中での健康づくりをテーマとして整備</p> <p>□S48整備着手:「兵庫百年」「明治百年」記念事業として整備 □S51整備着手</p> <p>■S53播磨中央公園開園 東播磨地域の文化・スポーツ・レクリエーションの核 「緑の回廊計画」の中核施設としての整備</p> <p>○S56軟式高校野球全国大会会場としての使用開始</p> <p>○S58一庫タムの管理開始</p> <p>○S58レクリエーション開発構想「三田サン・イベント構想」</p> <p>■S57西猪名公園開園 伊丹空港周辺の環境整備事業の一環として工場跡地(運輸省買収)を整備</p> <p>○S38瀬山における土砂採取開始</p>													□S41 「県勢振興計画」 ◆S42 「兵庫百年」「明治百年」記念事業	○S31 都市公園法の公布 ○S37 全総<地域間の均衡ある発展> ○S43 都市計画法(新法)の公布 ○S44 新全総<豊かな環境の創造> ○S47 「都市公園等整備五箇年計画」			
第3期	都市の拡大とバブル景気	S60	<p>■S60淡路島公園開園 淡路島内及び周辺地域のレクリエーション需要への対応</p> <p>□S61拡張計画 昭和天皇在位60周年記念健康運動公園に指定</p> <p>■S62赤穂海浜公園開園 西播磨地域の多様なスポーツ、レクリエーション需要への対応</p> <p>□H1追加開園(赤穂わくわくロード) □H1「丹波の森構想」策定 □H2追加開園(赤穂広場等) □H2基本計画策定</p> <p>□H4計画見直し □H3追加開園(泉民の森等) 緑地保全を優先した計画に見直し</p> <p>□S60追加開園(ウォーターランド、テニスコート)</p> <p>□S61追加開園(オートキャンプ場) □H10追加開園(ハイウェイアシンス等) ■H10一庫公園開園 緑の保全を第一の課題とし、「自然と人の出合いの場」を メインテーマとして整備</p> <p>□H11追加開園(駐車場) □H11明石海峡大橋建設に伴う大改造 □H11追加開園(駐車場) □H11追加開園(駐車場)</p> <p>■H12瀬山緑地開園 瀬山周辺土砂採取跡地の長大な斜面地の緑の回復</p> <p>□H13基本計画見直し(埋文調査) □H13移情閣が国指定文化財</p> <p>■H13有馬富士公園開園 阪神間北部の豊かな自然環境の保全、増大する多様なレクリエーション需要への対応</p> <p>□H14全面供用</p> <p>■H15淡路佐野運動公園開園 全国・県大会レベルの公式大会の開催、 野球王国兵庫への支援、特に少年野球の夢舞台づくり</p> <p>□H14基本計画策定</p> <p>■H17三木防災総合公園開園 県下全域を対象とする圏域防災拠点、 レクリエーション、地域スポーツの振興拠点として整備</p> <p>□H18(芝生広場)、H19(屋内テニスコート)追加開園</p> <p>■H18尼崎の森中央緑地開園 「尼崎21世紀の森構想」に基づく森づくりの リーディングプロジェクトとして整備</p> <p>□H21第1期事業完成 □H21追加開園(日本下家住宅)</p> <p>□H21追加開園(クラフトゴルフ場) □H21開伐実施</p> <p>□H22追加開園(自然体験の森ゾーン他) □H22追加開園(旧武蔵山治邸)、クラフトオープン</p> <p>□H23追加開園(草原と花のゾーン) □H23追加開園(第2多目的グラウンド)</p> <p>□H26「新宮晋風のミュージアム」オープン □H26,27追加開園(大芝生広場他)</p> <p>□H26第2期区域の都市計画廃止</p> <p>□H27「丹波地域恐竜ワールドミュージアム構想」においてコア施設として位置づけ</p> <p>■H27あわじ石の寝屋緑地開園 明石海峡大橋周辺地域における無秩序な開発抑制、 緑地の保全</p> <p>□H29「ニジゲンノリ」オープン □H30追加開園(屋内練習場) □H30追加開園</p> <p>○H30明石公園開園100周年 ○H30グランピング施設オープン □H30追加開園</p> <p>□H30リニューアル ○R1ラグビーワールドカップ事前キャンプ地</p> <p>○H31明石城築城400周年 ○R1日本遺産『日本第一』の塩を産したまち 播州赤穂 認定</p> <p>○R5サイクリングコース供用開始</p> <p>○R7長期指定管理開始</p> <p>○R4PF1事業終了 R5指定管理開始</p> <p>○R5開伐実施</p> <p>○R5尼崎の森、石の寝屋 自然共生サイト登録</p>													□S60 「全県全土公園化構想」 □S61 「兵庫2001年計画」	○S61 「第4次都市公園等整備五箇年計画」 ◆S63 ボンボン'88開催 □H3 「緑の総量確保推進計画」 ◆H7 阪神淡路大震災			
第4期	阪神淡路大震災以降	H8	<p>□H15拡張</p> <p>○H16明石城跡の国史跡指定</p> <p>□H16追加開園(交流ゾーン)</p> <p>□H17全面開園</p> <p>□H18(芝生広場)、H19(屋内テニスコート)追加開園</p> <p>□H19追加開園(交流ゾーン)</p> <p>□H20追加開園(屋内練習場)</p> <p>○R1ラグビーワールドカップ事前キャンプ地</p> <p>○R5サイクリングコース供用開始</p> <p>○R7長期指定管理開始</p> <p>□H9追加開園(オートキャンプ場) □H10追加開園(ハイウェイアシンス等) ■H10一庫公園開園 緑の保全を第一の課題とし、「自然と人の出合いの場」を メインテーマとして整備</p> <p>□H11追加開園(駐車場) □H11明石海峡大橋建設に伴う大改造 □H11追加開園(駐車場) □H11追加開園(駐車場)</p> <p>■H12瀬山緑地開園 瀬山周辺土砂採取跡地の長大な斜面地の緑の回復</p> <p>□H13基本計画見直し(埋文調査) □H13移情閣が国指定文化財</p> <p>■H13有馬富士公園開園 阪神間北部の豊かな自然環境の保全、増大する多様なレクリエーション需要への対応</p> <p>□H14全面供用</p> <p>■H15淡路佐野運動公園開園 全国・県大会レベルの公式大会の開催、 野球王国兵庫への支援、特に少年野球の夢舞台づくり</p> <p>□H14基本計画策定</p> <p>■H17三木防災総合公園開園 県下全域を対象とする圏域防災拠点、 レクリエーション、地域スポーツの振興拠点として整備</p> <p>□H18(芝生広場)、H19(屋内テニスコート)追加開園</p> <p>■H18尼崎の森中央緑地開園 「尼崎21世紀の森構想」に基づく森づくりの リーディングプロジェクトとして整備</p> <p>□H21第1期事業完成 □H21追加開園(日本下家住宅)</p> <p>□H21追加開園(クラフトゴルフ場) □H21開伐実施</p> <p>□H22追加開園(自然体験の森ゾーン他) □H22追加開園(旧武蔵山治邸)、クラフトオープン</p> <p>□H23追加開園(草原と花のゾーン) □H23追加開園(第2多目的グラウンド)</p> <p>□H26「新宮晋風のミュージアム」オープン □H26,27追加開園(大芝生広場他)</p> <p>□H26第2期区域の都市計画廃止</p> <p>□H27「丹波地域恐竜ワールドミュージアム構想」においてコア施設として位置づけ</p> <p>■H27あわじ石の寝屋緑地開園 明石海峡大橋周辺地域における無秩序な開発抑制、 緑地の保全</p> <p>□H29「ニジゲンノリ」オープン □H30追加開園(屋内練習場) □H30追加開園</p> <p>○H30明石公園開園100周年 ○H30グランピング施設オープン □H30追加開園</p> <p>□H30リニューアル ○R1ラグビーワールドカップ事前キャンプ地</p> <p>○H31明石城築城400周年 ○R1日本遺産『日本第一』の塩を産したまち 播州赤穂 認定</p> <p>○R5サイクリングコース供用開始</p> <p>○R7長期指定管理開始</p> <p>□H9追加開園(オートキャンプ場) □H10追加開園(ハイウェイアシンス等) ■H10一庫公園開園 緑の保全を第一の課題とし、「自然と人の出合いの場」を メインテーマとして整備</p> <p>□H11追加開園(駐車場) □H11明石海峡大橋建設に伴う大改造 □H11追加開園(駐車場) □H11追加開園(駐車場)</p> <p>■H12瀬山緑地開園 瀬山周辺土砂採取跡地の長大な斜面地の緑の回復</p> <p>□H13基本計画見直し(埋文調査) □H13移情閣が国指定文化財</p> <p>■H13有馬富士公園開園 阪神間北部の豊かな自然環境の保全、増大する多様なレクリエーション需要への対応</p> <p>□H14全面供用</p> <p>■H15淡路佐野運動公園開園 全国・県大会レベルの公式大会の開催、 野球王国兵庫への支援、特に少年野球の夢舞台づくり</p> <p>□H14基本計画策定</p> <p>■H17三木防災総合公園開園 県下全域を対象とする圏域防災拠点、 レクリエーション、地域スポーツの振興拠点として整備</p> <p>□H18(芝生広場)、H19(屋内テニスコート)追加開園</p> <p>■H18尼崎の森中央緑地開園 「尼崎21世紀の森構想」に基づく森づくりの リーディングプロジェクトとして整備</p> <p>□H21第1期事業完成 □H21追加開園(日本下家住宅)</p> <p>□H21追加開園(クラフトゴルフ場) □H21開伐実施</p> <p>□H22追加開園(自然体験の森ゾーン他) □H22追加開園(旧武蔵山治邸)、クラフトオープン</p> <p>□H23追加開園(草原と花のゾーン) □H23追加開園(第2多目的グラウンド)</p> <p>□H26「新宮晋風のミュージアム」オープン □H26,27追加開園(大芝生広場他)</p> <p>□H26第2期区域の都市計画廃止</p> <p>□H27「丹波地域恐竜ワールドミュージアム構想」においてコア施設として位置づけ</p> <p>■H27あわじ石の寝屋緑地開園 明石海峡大橋周辺地域における無秩序な開発抑制、 緑地の保全</p> <p>□H29「ニジゲンノリ」オープン □H30追加開園(屋内練習場) □H30追加開園</p> <p>○H30明石公園開園100周年 ○H30グランピング施設オープン □H30追加開園</p> <p>□H30リニューアル ○R1ラグビーワールドカップ事前キャンプ地</p> <p>○H31明石城築城400周年 ○R1日本遺産『日本第一』の塩を産したまち 播州赤穂 認定</p> <p>○R5サイクリングコース供用開始</p> <p>○R7長期指定管理開始</p> <p>□H9追加開園(オートキャンプ場) □H10追加開園(ハイウェイアシンス等) ■H10一庫公園開園 緑の保全を第一の課題とし、「自然と人の出合いの場」を メインテーマとして整備</p> <p>□H11追加開園(駐車場) □H11明石海峡大橋建設に伴う大改造 □H11追加開園(駐車場) □H11追加開園(駐車場)</p> <p>■H12瀬山緑地開園 瀬山周辺土砂採取跡地の長大な斜面地の緑の回復</p> <p>□H13基本計画見直し(埋文調査) □H13移情閣が国指定文化財</p> <p>■H13有馬富士公園開園 阪神間北部の豊かな自然環境の保全、増大する多様なレクリエーション需要への対応</p> <p>□H14全面供用</p> <p>■H15淡路佐野運動公園開園 全国・県大会レベルの公式大会の開催、 野球王国兵庫への支援、特に少年野球の夢舞台づくり</p> <p>□H14基本計画策定</p> <p>■H17三木防災総合公園開園 県下全域を対象とする圏域防災拠点、 レクリエーション、地域スポーツの振興拠点として整備</p> <p>□H18(芝生広場)、H19(屋内テニスコート)追加開園</p> <p>■H18尼崎の森中央緑地開園 「尼崎21世紀の森構想」に基づく森づくりの リーディングプロジェクトとして整備</p> <p>□H21第1期事業完成 □H21追加開園(日本下家住宅)</p> <p>□H21追加開園(クラフトゴルフ場) □H21開伐実施</p> <p>□H22追加開園(自然体験の森ゾーン他) □H22追加開園(旧武蔵山治邸)、クラフトオープン</p> <p>□H23追加開園(草原と花のゾーン) □H23追加開園(第2多目的グラウンド)</p> <p>□H26「新宮晋風のミュージアム」オープン □H26,27追加開園(大芝生広場他)</p> <p>□H26第2期区域の都市計画廃止</p> <p>□H27「丹波地域恐竜ワールドミュージアム構想」においてコア施設として位置づけ</p> <p>■H27あわじ石の寝屋緑地開園 明石海峡大橋周辺地域における無秩序な開発抑制、 緑地の保全</p> <p>□H29「ニジゲンノリ」オープン □H30追加開園(屋内練習場) □H30追加開園</p> <p>○H30明石公園開園100周年 ○H30グランピング施設オープン □H30追加開園</p> <p>□H30リニューアル ○R1ラグビーワールドカップ事前キャンプ地</p> <p>○H31明石城築城400周年 ○R1日本遺産『日本第一』の塩を産したまち 播州赤穂 認定</p> <p>○R5サイクリングコース供用開始</p> <p>○R7長期指定管理開始</p>													□H8 「兵庫県グリーンフェニックス計画」 ◆H10 明石海峡大橋の直通	○H10 21世紀の国土のグランドデザイン <多軸型国土構造形成の基礎づくり> ○H10 「第6次都市公園等整備五箇年計画」			
第5期	これから	R8	<p>「県立都市公園の整備・管理運営基本計画2026～2035」 ①計画期間：2026～2035(10年間) 概ね5年で計画の点検 ②施策方針： 1 県民にとってより身近な公園 2 誰もが自分らしく過ごせる公園 3 地域のつながりを育む公園 4 自然環境を次世代へつなぐ公園 5 持続可能なパークマネジメントの推進</p>													◆R3 淡路花博2021花みどりフェア □R3 「ひょうごビジョン2050」 □R5 県立都市公園のあり方検討会提言 ◆R7 淡路花博2025花みどりフェア □R7 「県立都市公園の整備・管理運営基本計画2026～2035」 □R9 「緑の広域計画」策定	○H26 国土のグランドデザイン2050 <コンパクト+ネットワーク> ○H27 持続可能な開発のための2030アジェンダの採択 ○H27 国土形成計画 ○H29 都市公園法改正(Park-PFI) ○R2 ニューノーマルに対応した公園の活用 ○R6 都市緑地法改正(緑の広域計画)			

3 淡路佐野運動公園の計画内容

3-1 淡路佐野運動公園の概要

(1) 公園概要

公園名	淡路佐野運動公園	
開設年月日	平成 15 (2003) 年 5 月 3 日	
面積	計画面積：29.5ha 開園面積：29.5ha	
公園種別	運動公園	
主な施設	野球場 (第 1、第 2)、サッカー場 (第 1、第 2、第 3)、多目的グラウンド、第 2 多目的グラウンド、クラブハウス、屋内練習場	

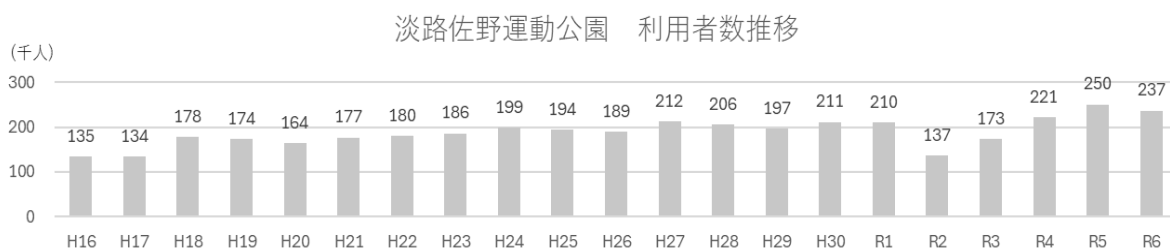
淡路市佐野新島に整備された、県立都市公園として唯一の運動公園である。

淡路島公園を補完する淡路地域のスポーツ・レクリエーションの拠点として、野球場、サッカー場を整備しており、多目的グラウンドを合わせると全国最大級の 8 面で少年野球の開催可能な少年野球のメッカとなっている。サッカーでは 2002 年の『FIFA ワールドカップ』でイングランドチームのキャンプ地として注目を集めた。

屋内練習場を整備し、地域の防災力の向上はもちろん、練習拠点、スポーツ合宿等を通じ、地域間交流及び地域活性化の核となる公園づくりを進めている。

(2) 利用者数の推移

平成 15 年の開園後、10 年ほどで、利用者数は 200 千人前後で推移するようになった。コロナ禍であった令和 2 年度には利用者数が 137 千人に減少したが、その後回復し、令和 5 年度は開園以来最多となる 250 千人の利用となった。



(3) 施設配置図



第1野球場



第2野球場



多目的グラウンド



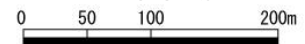
第2多目的グラウンド



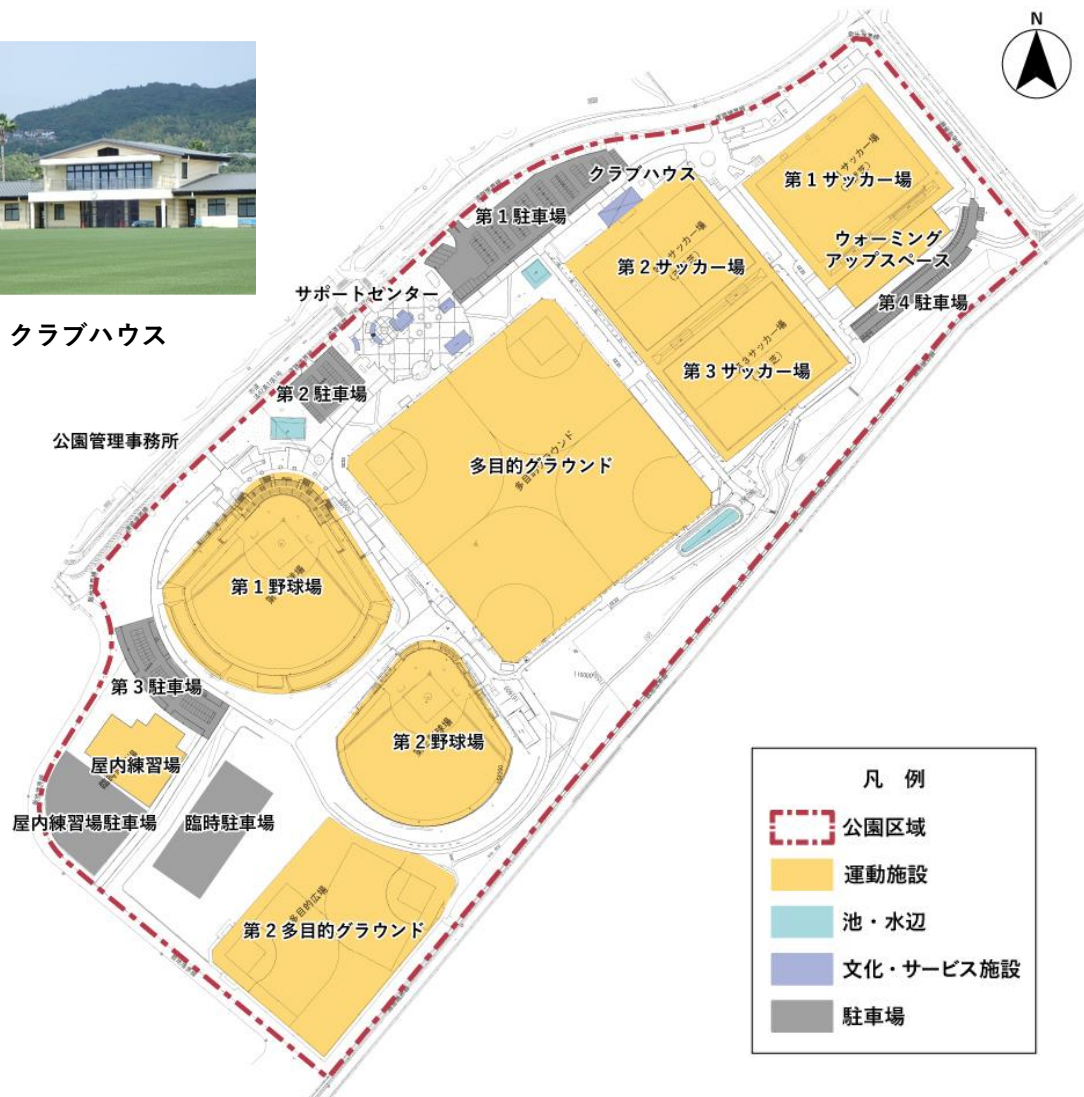
第1サッカー場



屋内練習場



クラブハウス



(4) 淡路佐野運動公園の成り立ち

公園名	時 期													これから		
	戦後復興及び高度経済成長			都市拡大とバブル景気			阪神淡路大震災以降								R8	
	S20	S30	S40	S45	S50	S55	S60	H2	H7	H8	H13	H18	H23	H28	R3	R8
														兵庫県立都市公園の整備・管理運営基本計画〔2026～2035〕		
淡路佐野運動公園	<p>取組み概要</p> <p>W杯およびのじぎく国体開催を契機としたスポーツ拠点の整備</p> <p>プロスポーツ等誘致による地域活性化を目指したスポーツ施設の充実</p> <p>地域住民の健康づくり</p> <p>住民の参画と協働への取組み</p> <p>共創の促進</p>															
	<p>整備</p> <p>H14:FIFA ワールドカップ</p> <p>○H18:国民体育大会「のじぎく兵庫国体」 全国障害者スポーツ大会「のじぎく兵庫大会」</p> <p>R1:ラグビーワールドカップ</p> <p>H13:野球場、サッカー場の施設整備</p> <p>H9,10:企業庁と津名町が共同でサッカー場を整備</p> <p>H15:開園 ・全国・県大会レベルの公式大会の開催、野球王国兵庫への支援、少年野球の夢舞台づくり ・淡路地域におけるスポーツ振興及び健康の維持増進</p> <p>H15:野球場、サッカー場、多目的グラウンドの供用開始</p> <p>H23:第2多目的グラウンドの供用開始</p> <p>H30:屋内練習場の供用開始</p> <p>R5～7:第1野球場改修</p>													<p>○樹木の適切な管理</p> <p>○長寿命化対策による老朽化施設の改修・更新を順次実施</p>		
	<p>管理・運営</p> <p>H14:FIFA ワールドカップ キャンプ 地として先行使用(イングラウンド)</p> <p>R1:ラグビーワールドカップ 2019 事前キャンプの受入れ(サマ、ロシア)</p> <p>H18:のじぎく兵庫国体:サッカー のじぎく兵庫大会:ソフトボール、グラウンドソフトボール、フットパースボール</p> <p>H15:管理運営協議会開始</p> <p>H18:指定管理開始(H26 から公募による指定管理)</p>													<p>○協議会のさらなる充実</p>		

3-2 リノベーションテーマ

淡路佐野運動公園のリノベーションテーマおよびキーワードを以下の通り設定する。

テーマ： 充実したスポーツ施設による健康づくり支援、地域活性

キーワード： 健康づくり 観光 スポーツ

3-3 リノベーション方針

公園の成り立ちや各施設の利用状況、周辺施設の状況等から総合的に判断し、「新規施設導入」、「機能の更新」、「機能の維持・保全」に分類したリノベーション方針を示す。対応については、今後、管理運営協議会等で詳細を議論することとする。

なお、実施に当たっては、財政状況・施設の運営状況・社会情勢（ポストコロナ・SDGs等）を考慮し、県民全体のサービス向上に資するように努める。

(1) 現状と課題及び方針

■ : 新規施設導入
 ■ : 機能の更新
 ■ : 機能の維持・保全

キーワード	施設名	利用状況	課題	対応（○ハード、■ソフト）
スポーツ 観光	野球場	<ul style="list-style-type: none"> 第1野球場の利用率:56.8%(R1) 第2野球場の利用率:51.0%(R1) 	<ul style="list-style-type: none"> ●プロ野球ウェスタンリーグや高校・大学の野球部合宿等に利用されており、試合時にファウルボールが飛来することがあり、安全対策が必要である。 	機能の更新 ○球場外へのファウルボール飛来を防ぐため、メインスタンド防球フェンスの設置を検討 ■合宿や各種大会等のさらなる誘致の検討
	多目的グラウンド	<ul style="list-style-type: none"> 多目的グラウンドの利用率:38.7%(R1) 第2多目的グラウンドの利用率32.6%(R1) 	<ul style="list-style-type: none"> ●特になし。 	機能の維持・保全 ○維持修繕等 ■合宿や各種大会等のさらなる誘致の検討
	サッカー場	<ul style="list-style-type: none"> 第1サッカー場の利用率:75.8%(R1) 第2サッカー場の利用率:86.8%(R1) 第3サッカー場の利用率:61.4%(R1) 	<ul style="list-style-type: none"> ●山側に1基しかなく、複数チームが利用する大会等では十分ではない。 	新規施設導入 ○海側に団体等が同時に入れるシェルターを新設
	屋内練習場	<ul style="list-style-type: none"> 第1屋内練習場の利用率:48.8%(R1) 第2屋内練習場の利用率:42.7%(R1) 投球練習場の利用率:7.8%(R1) 会議室の利用率:40.8%(R1) トレーニング室の利用件数:7,910件(R1) 		
	シェルター	<ul style="list-style-type: none"> ●日除けや雷時等の避難場所として、利用されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●特になし。 	機能の維持・保全 ○維持修繕等
	クラブハウス	<ul style="list-style-type: none"> ●主にサッカー場利用者の控室、ミーティングの場として利用されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●当公園は、野球やサッカー等集団スポーツがメインであり、島外からの利用者が多い一方、地域住民の利用が少ない。現状では、地域住民の利用としてウォーキング等健康づくりの場としての利用が多いため、これをさらに充実させる取り組みが必要。 	新規施設導入 ○地域住民にもっと利用してもらうため、誰でも(一人でも)手軽に利用可能な健康遊具の設置
健康遊具	<ul style="list-style-type: none"> ●地元住民のウォーキング散策路として利用されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●クロマツ林の枯損が著しく防潮林の機能が損なわれており、散策路の景観も悪化している。 ●散策路の西側の植林地が過密化しており、樹木の成長が阻害されている。 ●遊歩道コースの案内が十分ではない。 	機能の維持・保全 ○樹木の調査及び、適切な間伐等による樹木管理の実施 ○サイン等の設置によるウォーキングコースの充実	

(2) 公園をとりまく社会情勢の変化への対応

コロナ後等の社会情勢を見据え、施設の新たな活用を検討するとともに、SDGs 達成を目指した取り組みを推進する。

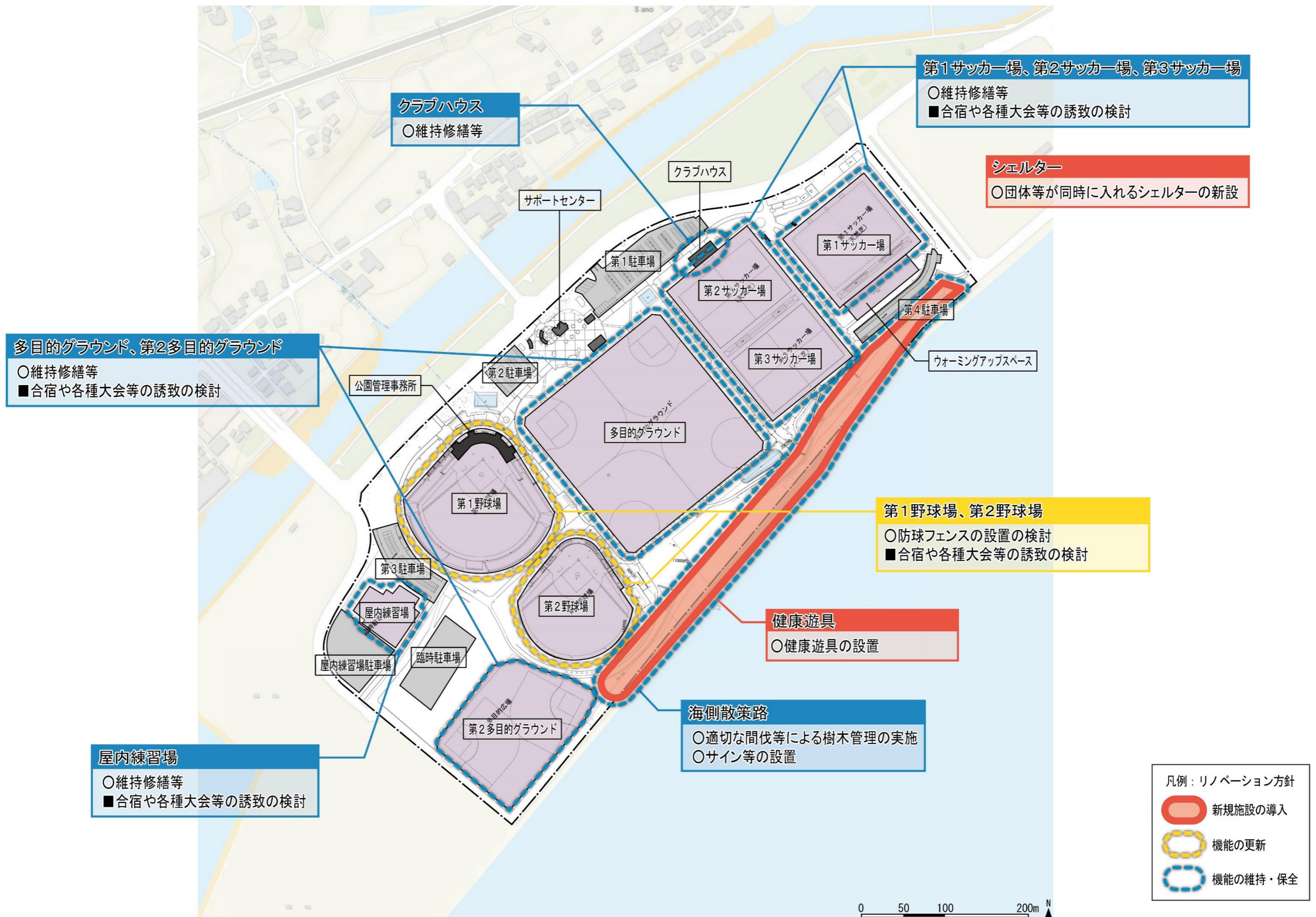
(ポストコロナ)

- 「3密」回避できるセルフレクリエーションの推進
 - ・ウォーキング等の利用促進のための環境整備
- 公園内外のマイクロツーリズムの展開
 - ・当公園をつなぐ遊歩道を巡るコースの充実
 - ・市や関係機関等との連携による景観スポット巡りサイン (QR) の整備

(グリーンインフラ)

- 施設の修繕・新規整備の際は、透水性舗装化等の貯留・浸透機能を有効に活用

(3) リノベーション方針図 (○ハード、■ソフト)



3-4 取組内容

計画の対象ごとに、課題、実施主体（案）、概要を示し、これに基づいてリノベーションを実施する。

①野球場

<課題>

- プロ野球ウェスタンリーグや高校・大学の野球部合宿等に利用されており、試合時にファウルボールが飛来することがあり、安全対策が必要である。

<実施主体（案）>

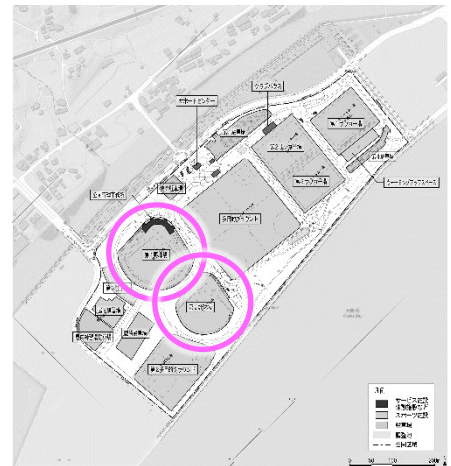
ハ：ハードに関する対策 ソ：ソフトに関する対策

		県	指	市町	民間	住民
ハ 防球フェンスの設置の検討	主体となって進める機関					
	協力・連携して進める機関					
ソ 合宿や各種大会等の誘致の検討	主体となって進める機関					
	協力・連携して進める機関					

<概要>

球場外へのファウルボール飛来を防ぐため、メインスタンド防球フェンスの設置を検討する。

これまでの実績を活かして、合宿や各種大会等のさらなる誘致を検討する。



第一野球場



第二野球場

②多目的グラウンド、サッカー場、屋内練習場

<課題>

- 特になし。

<実施主体（案）>

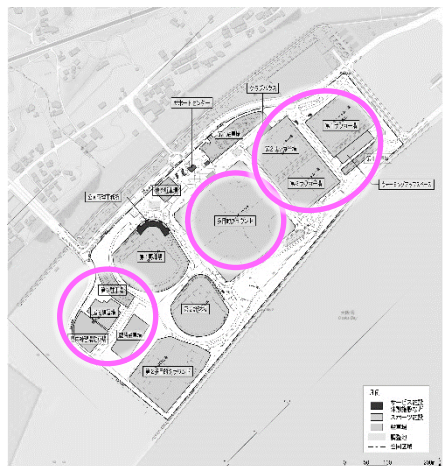
ハ：ハードに関する対策 ソ：ソフトに関する対策

		県	指	市町	民間	住民
ハ 維持修繕等	主体となって進める機関					
	協力・連携して進める機関					
ソ 合宿や各種大会等の誘致の検討	主体となって進める機関					
	協力・連携して進める機関					

<概要>

現状の施設の維持修繕を図る。

これまでの実績を活かして、合宿や各種大会等のさらなる誘致を検討する。



多目的グラウンド



屋内練習場

③シェルター

<課題>

- 山側に1基しかなく、複数チームが利用する大会等では十分ではない。

<実施主体（案）>

ハ：ハードに関する対策 ソ：ソフトに関する対策

		県	指	市町	民間	住民
ハ	シェルターの新設					
	主体となって進める機関					
	協力・連携して進める機関					

<概要>

全体で1基しかないシェルターを園内にバランス良く配置するため、少なくとも海側にシェルターを1基設置する。

④クラブハウス

<課題>

- 特になし。

<実施主体（案）>

ハ：ハードに関する対策 ソ：ソフトに関する対策

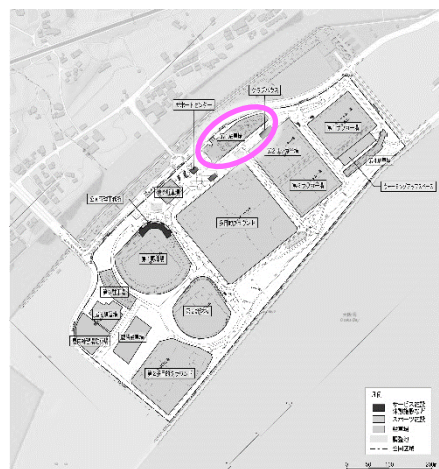
		県	指	市町	民間	住民
ハ	維持修繕等					
	主体となって進める機関					
	協力・連携して進める機関					

<概要>

現状の施設の維持修繕を図る。



クラブハウス



⑤健康遊具

<課題>

- 当公園は、野球やサッカー等集団スポーツがメインであり、島外からの利用者が多い一方、地域住民の利用が少ない。現状では、地域住民の利用としてウォーキング等健康づくりの場としての利用が多いため、これをさらに充実させる取り組みが必要である。

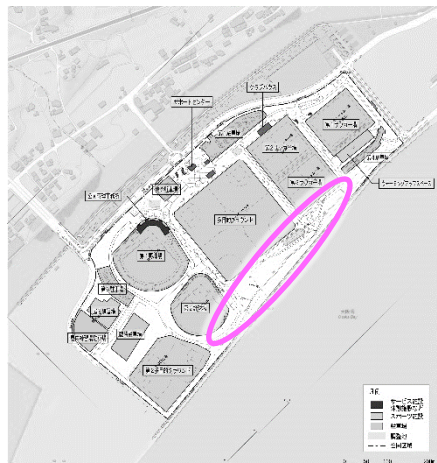
<実施主体（案）>

ハ：ハードに関する対策 ソ：ソフトに関する対策

	県	指	市町	民間	住民
ハ 健康遊具の設置					
主体となって進める機関					
協力・連携して進める機関					

<概要>

地域住民にもっと利用してもらうため、誰でも手軽に一人でも利用可能な健康遊具を設置する。



海辺の散策路

⑥海側散策路

<課題>

- クロマツ林の枯損が著しく防潮林の機能が損なわれており、散策路の景観も悪化している。
- 散策路の西側の植林地が過密化しており、樹木の成長が阻害されている。
- 遊歩道コースの案内が十分ではない。

<実施主体（案）>

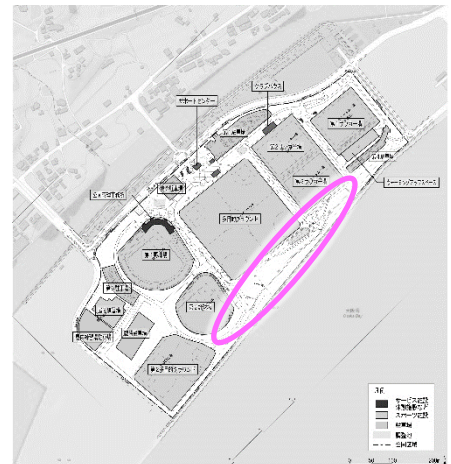
ハ：ハードに関する対策 ソ：ソフトに関する対策

		県	指	市町	民間	住民
ハ 適切な間伐等による樹木管理の実施	主体となって進める機関					
	協力・連携して進める機関					
ハ サイン等の設置	主体となって進める機関					
	協力・連携して進める機関					

<概要>

古損が著しいクロマツ林などの樹木の状態を調査し、適切な間伐等による樹木管理を実施する。

ウォーキングコースとしての充実を図るため、サイン等を設置する。



枯損が著しいクロマツ林

⑦社会情勢の変化への対応（ポストコロナ時代への対応）

<課題>

- ポストコロナを見据え、公園の新たな活用が期待されている。

<実施主体（案）>

ハ：ハードに関する対策 ソ：ソフトに関する対策

		県	指	市町	民間	住民
<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">ハ</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ソ</div> </div>	セルフクリエイションの推進	主体となって進める機関				
	協力・連携して進める機関					
<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">ハ</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ソ</div> </div>	マイクロツーリズムの展開	主体となって進める機関				
	協力・連携して進める機関					

<概要>

ウォーキング等の利用促進のための環境整備を図る。

また、当公園をつなぐ遊歩道をめぐるコースの充実や、市や関係機関などとの連携による景観スポット巡りサイン（QR）を整備する。

⑧社会情勢の変化への対応（グリーンインフラの推進）

<課題>

- 近年増加している豪雨に対応するため、公園内の施設を利用したグリーンインフラの整備が必要である。

<実施主体（案）>

ハ：ハードに関する対策 ソ：ソフトに関する対策

		県	指	市町	民間	住民
<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">ハ</div> </div>	貯留・浸透機能の有効活用	主体となって進める機関				
	協力・連携して進める機関					

<概要>

施設の修繕・新規整備にあわせた透水性舗装化等、貯留・浸透機能を有効に活用する。